

令和5年度中学生チャレンジウィーク アンケート結果

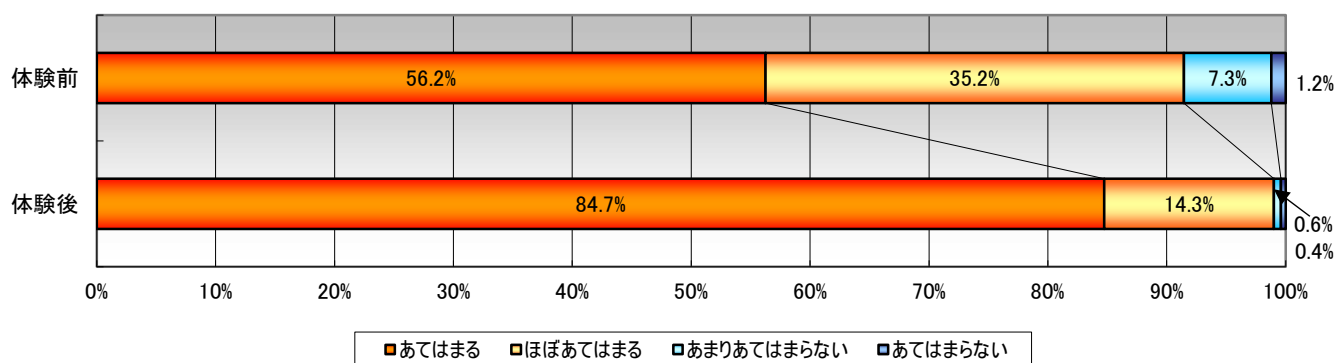
滋賀県教育委員会

令和5年度中学生チャレンジウィーク アンケート 結果

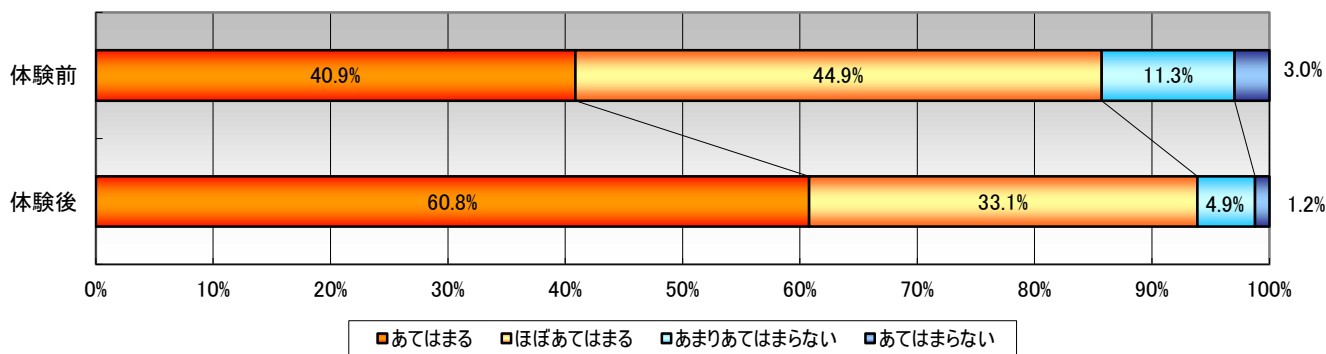
調査・まとめ	滋賀県教育委員会
調査時期	令和5年12月末現在
対象校	抽出51校(12月末現在、実施済み97校中(対象98校)) 実施計画書提出市町教育委員会に調査協力を依頼
対象者	<ul style="list-style-type: none"> ・中学2年生 2453人 ・保護者 1907人 ・受け入れ先 1675人 ・教職員 422人
調査方法	記述式(選択・自由)によるアンケート調査

(1) 生徒アンケートの結果

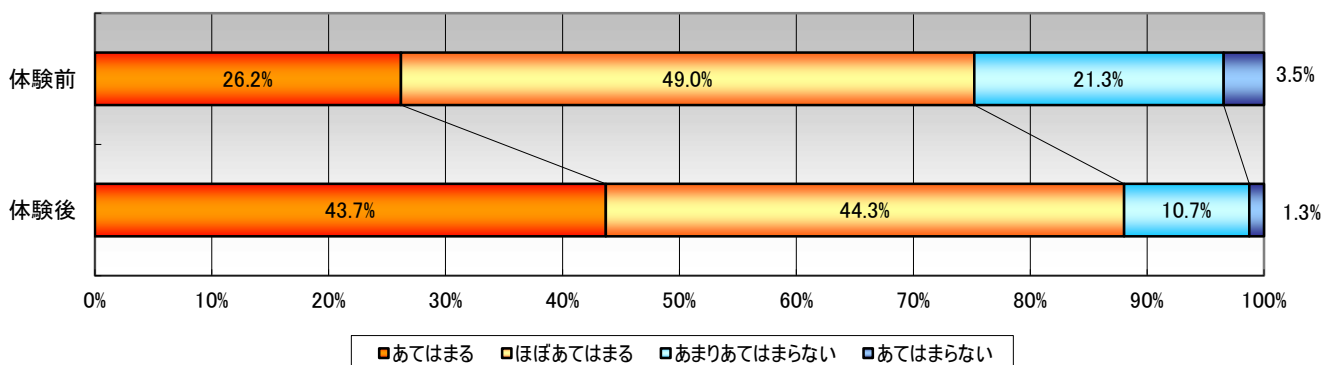
1 働くことの大切さや苦勞がわかる。



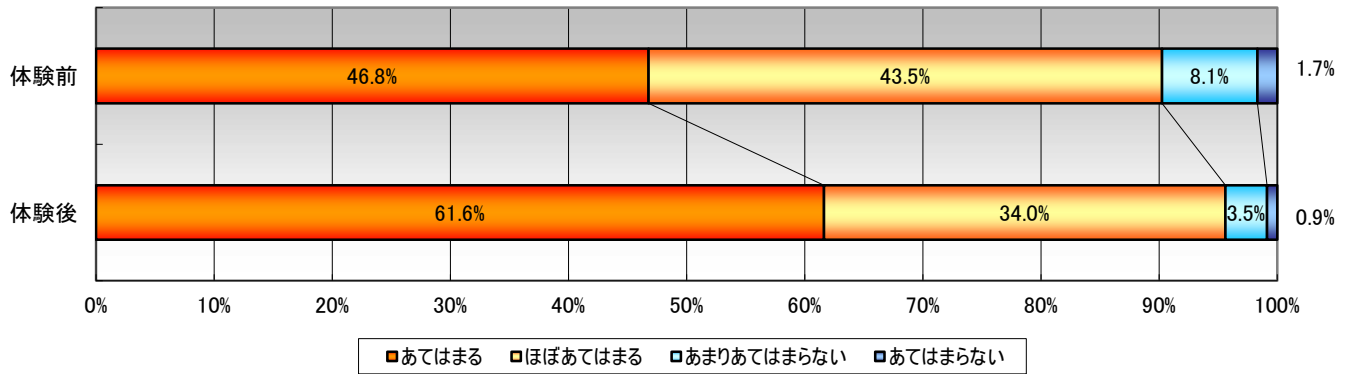
2 学習に前向きに取り組んでいる。



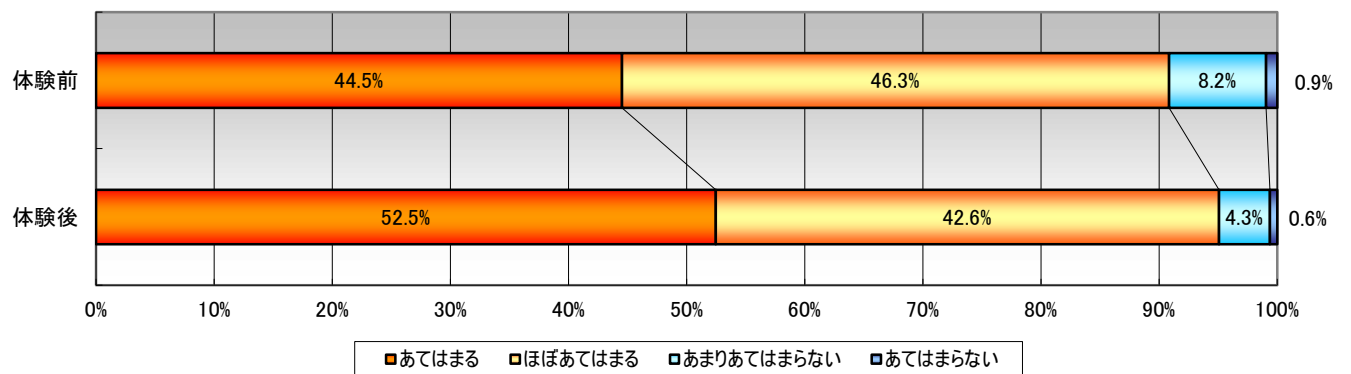
3 不得意なことや苦手なことでも最後までやり通している。



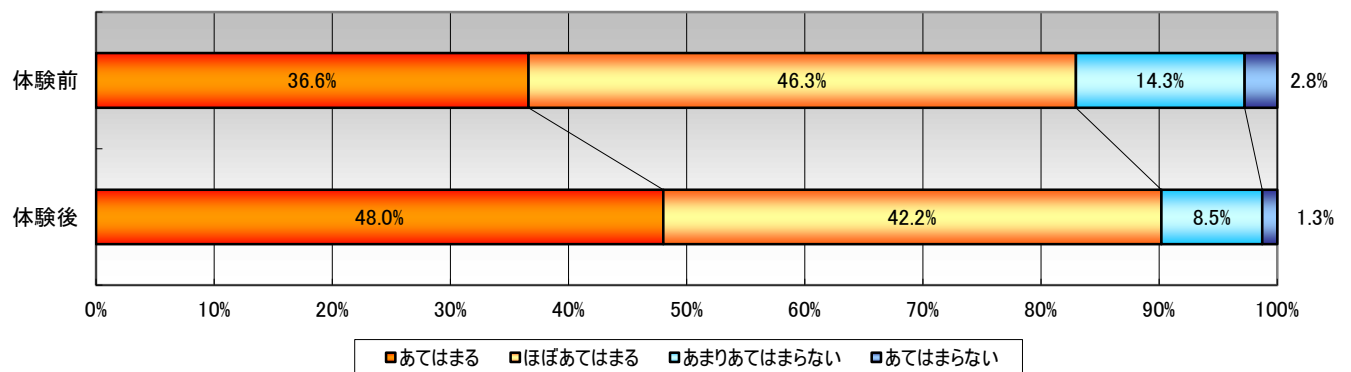
4 周囲と力を合わせて掃除や係の仕事をしている。



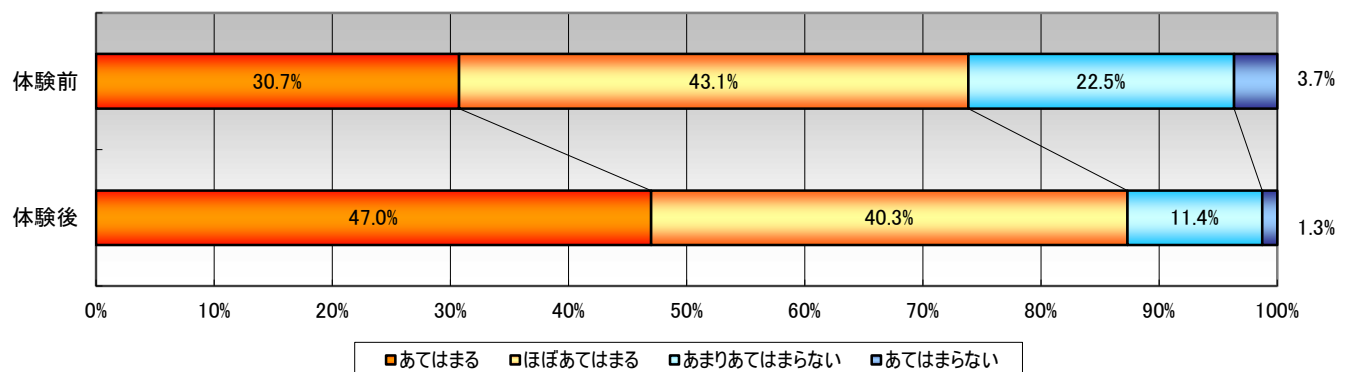
5 自分や他人のよさがわかり、自分と異なる意見を理解しようとしている。



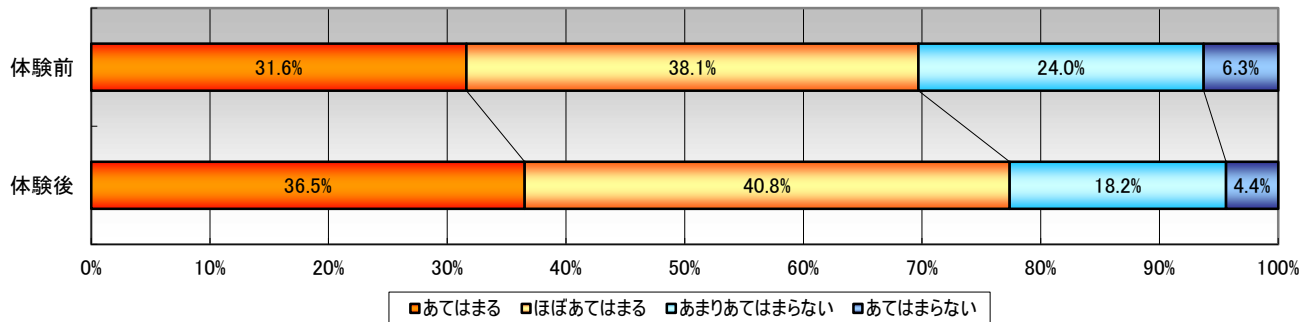
6 学校で学んでいることと社会のしくみがつながっていることを理解している。



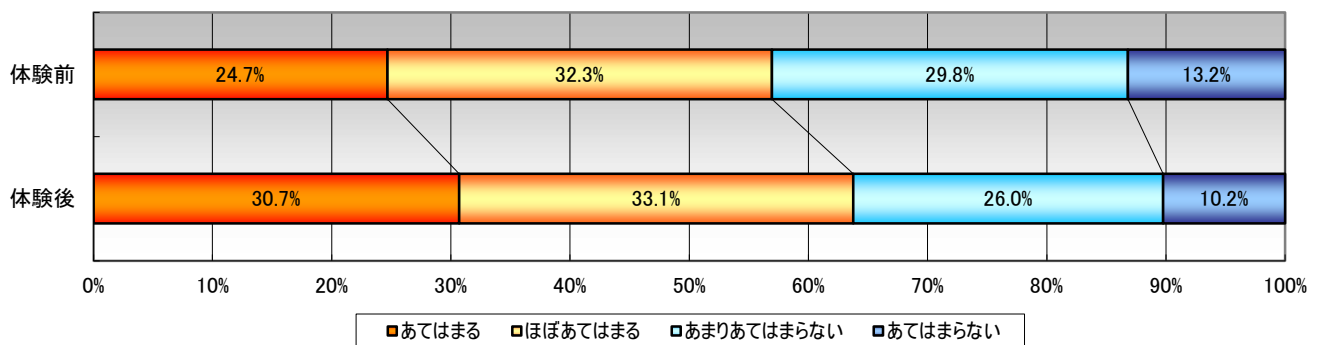
7 わからないことは、自分から質問をするなどして解決しようとしている。



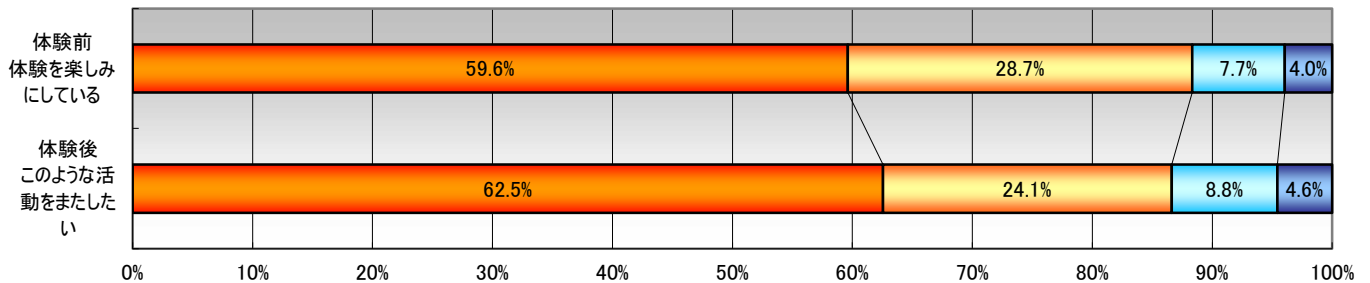
8 自分の進路やつきたい職業などについて考え、今しなければならぬことを理解している。



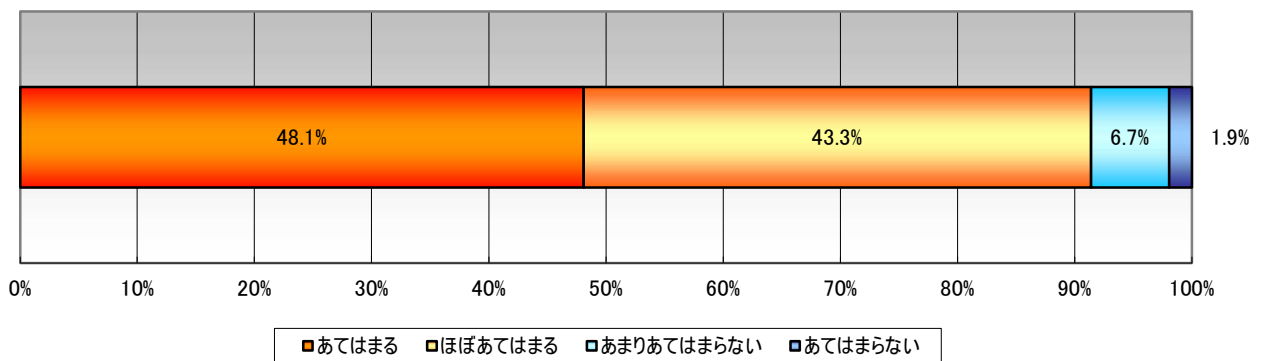
9 働くことについて、親(保護者)と家庭で話をしている。



10 職場体験を楽しみにしている。

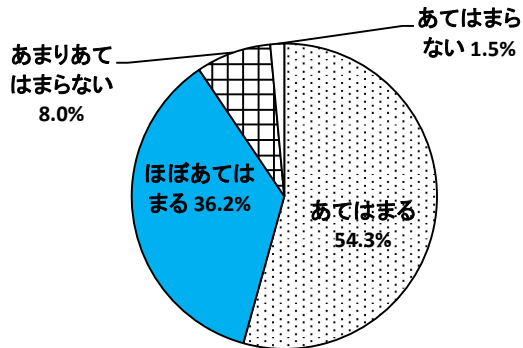


11 職場体験で自分のよさや適性などを発見したり、確認したりできた。

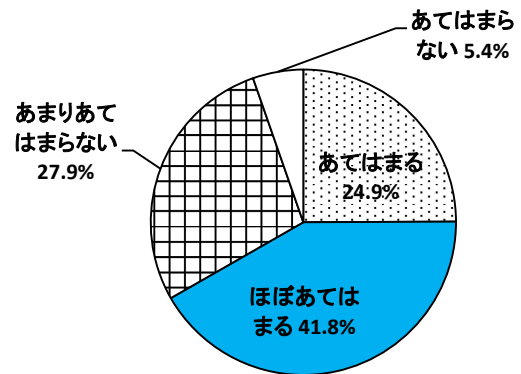


(2)保護者アンケートの結果

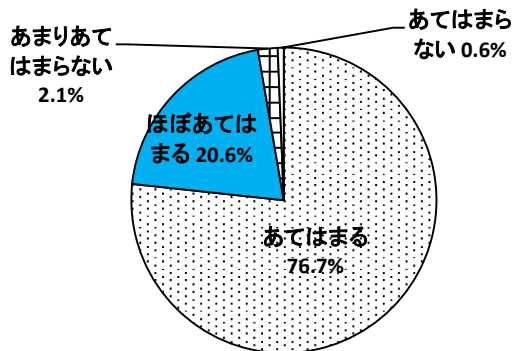
12 職場体験「中学生チャレンジウィーク事業」を通して、お子さんとこの活動について話し合った。



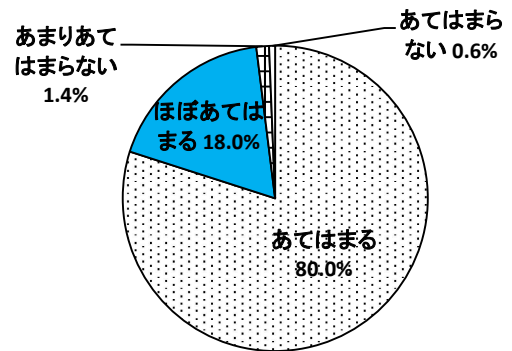
13 この活動を通して、お子さんに対する見方が変わった。



14 この様な体験活動の機会があれば、またお子さんを参加させたいと思う。

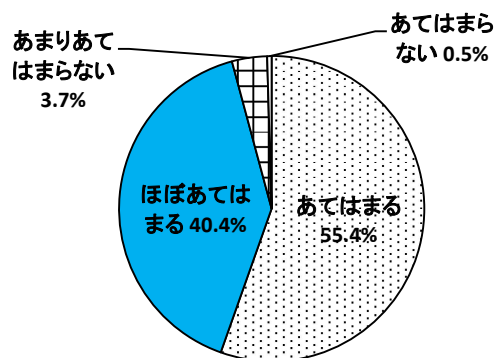


15 このように職場体験などを通して地域社会で子どもたちを育てる活動に賛同する。

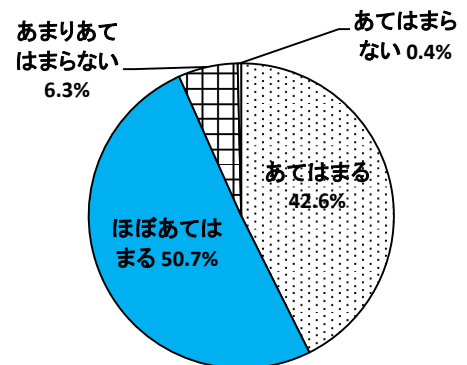


(3) 受け入れ先アンケートの結果

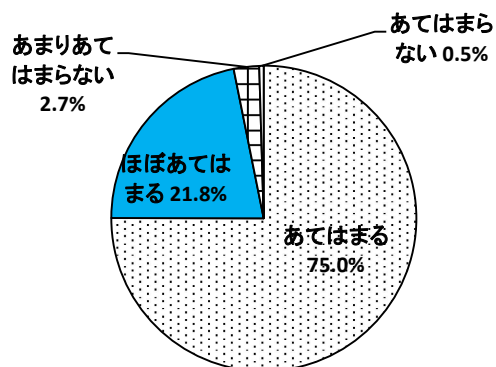
16 職場に来た生徒たちの取り組み方は積極的であったと思う。



17 この職場体験を通して、生徒たちに変化が見られた。

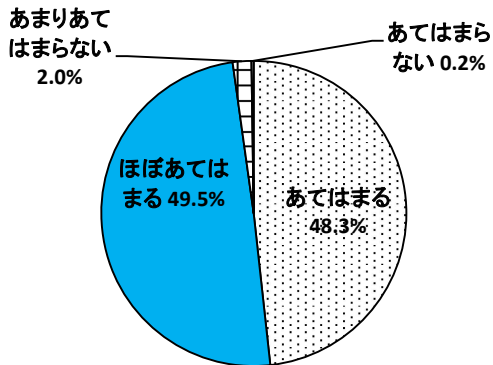


18 今後も職場体験として、中学生を受け入れる機会があれば協力したいと思う。

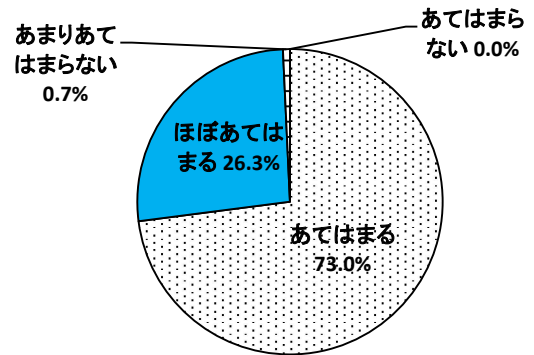


(4)教職員アンケートの結果

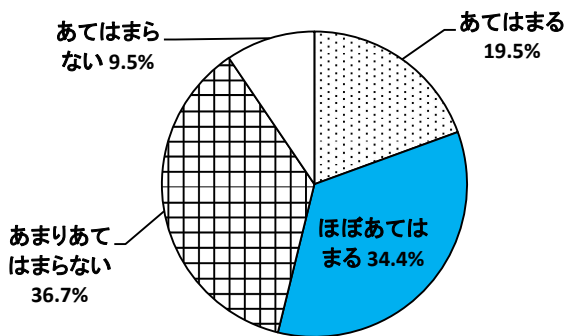
19 職場体験の実施にあたり、生徒一人ひとりを大切にした取組ができたと思う。



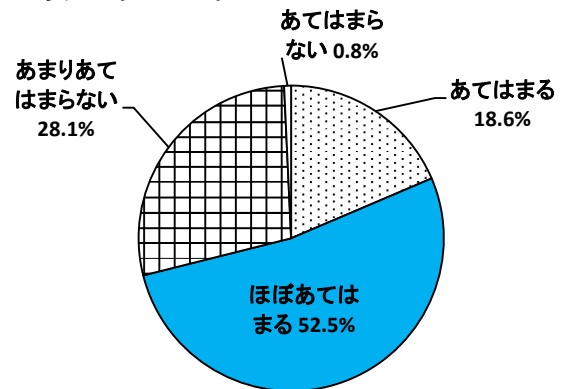
20 職場体験は、学校と地域社会をつなぐ活動であったと思う。



21 職場体験の実施にあたり、各教科において関連した内容を指導している。



22 職場体験を終えて、生徒たちの日常生活に変化が見られた。



自由記述の抜粋

■生徒アンケートより

～自分への気付き～

- ・以前より何事にも積極的に取り組めるようになった。
- ・自分から積極的に行動することができるようになった。進路についてよく考えるようになった。
- ・働いてくれている身近な人などへの感謝の気持ちが以前よりもた。働くことの大変さが知れて自分が将来どのように生きていくべきかを考えられた。
- ・働いた後の気持ちが、「疲れた」でいっぱいになると思っていたけれど、「楽しかった」という気持ちがあることを知った。
- ・仕事では周りの人との協力や、周りの人への気配りが必要だと気がついた。苦手なことにも挑戦できるようになったと思う。
- ・コミュニケーションの大切さを改めて実感することが出来た。自分で考えて自分で行動することの大切さを学んだので、これからは人に聞くだけでなく、自分で考えることも大切にしていきたい。
- ・周りの方が大変そうだったりするとき、「手伝ってあげたい」という気持ちを、すぐに行動にうつすことができるようになった。
- ・学校に長い時間いられるようになった。給食を食べられるようになった。
- ・働いている人たちに感謝を感じることができるようになった。学校で学んでいることは、将来のためになるということが分かった。
- ・仕事についての意識が変わって、進路について親と相談したり、本格的に考えたりするようになった。いろいろなことを踏まえて仕事は決めないといけないことがわかった。

～働くことに対する気付き～

- ・働くことの大変さや難しさ、楽しさがわかった。働くってこんなにも難しいとは思わなかった。今回学んだことを生かして生活をしようと思った。
- ・職場体験を通して働くことの大変さや楽しさがわかった。自分の夢について考えるきっかけになった。
- ・働くということは、あまり楽しくなくて、苦勞することばかりだと思っていたけれど、働く人の姿を見て、そういうことも全部含めて達成感や、やりがいになるから、嫌なことだけじゃないとわかった。また、私たちがいつも生活している中には、本当にたくさんの方がいて、支えてくれているんだと改めて感じた。
- ・コミュニケーションの大切さと自分から行動する積極性が社会ではとても大事だと学んだ。
- ・働くことはすごく大変で、それまでの経験が重要になると思った。だから、挨拶やコミュニケーション、勉強など今できることをしていきたい。
- ・職場体験で人と関わる仕事はコミュニケーションが大切なのだということに気づいた。
- ・働くということは自分の想像以上に大変だと気づいた。挨拶や言葉づかいなどへの意識が変わった。働くことは、自分のため、人のため、地域のためになり、世の中をよりよいものにしようとするのだと考えた。

■保護者アンケートより

～子どもの変化や保護者の願い～

- ・以前よりも前向きに進路のことを考えるようになりました。
- ・あまり興味を持たないだろう分野で職場体験に行きましたが、すごく楽しかったようで、新しい視点を身につけたように思います。視野が広がったようです。
- ・時間通りに自分で職場まで行くためには、何時に家を出て、どの道を通るかなど、働く前後の自立行動を改めて経験し、学べたことがよかったです。職場では大変親切に、丁寧に接していただいたと聞きました。ご指導いただいたことに感謝の気持ちを忘れず、今後に活かして行ってほしいです。
- ・普段、家で親が草むしりをしていても手伝うことはほとんどなかったのですが、職場体験の後、「手伝おうか？」と一緒に草むしりをしてくれました。働くことの大変さや、親や先生以外の大人と関わったことで、いろんな事を学んでくれたのだろうとうれしく感じました。
- ・嫌なことがあっても逃げてしまうのではなく、前向きに頑張れたこと、すごく成長したように思います。
- ・職場体験前、事業所の方にご迷惑をかけないか、しっかりできるか親としては心配でしたが、アポや実際の5日間、言葉遣い、接し方等、褒めていただくことが多くあると聞いて、わが子の成長を感じられました。期間中とても楽しく体験に行っていて、関わってくださった方々に感謝の思いです。
- ・今回の体験を通して、親子での会話が増えました。しっかりと体験を終えて帰ってきた姿を見て、子どもの見方が変わりました。
- ・ものすごく前向きに、いやなことも言わずにがんばっていました。毎日疲れて帰ってきていましたが、その日にあった出来事をいきいきと話してくれ、とても頼もしく感じました。本人も自ら考えて行動することの大切さを学べたと思います。

～感想・ご意見等～

- ・職場体験はとても良い経験ができたと感じています。あこがれている職業だけに、良い面だけではなく、大変な面も知ることができて、将来につながる貴重な経験となりました。
- ・初めて会った大人の人とのコミュニケーションを取るなど、慣れないことばかりの中で、本人なりに目の前のことに一生懸命取り組み、やり切ることができたように思い、嬉しいです。この機会を作ってくださった学校と地域の方々に感謝しています。
- ・とても貴重な体験をさせてもらいました。将来の職業のことなどを考える機会になったと思います。実際に働くというのは実践にあたる部分なので、考えたり想像したりするだけとは比べ物にならない価値があります。お忙しい中子供たちのために動いて下さり感謝しております。
- ・責任感を持って仕事に取り組む姿勢が育ったと思います。将来の職業選択の幅をどんどん広げてほしいし様々な経験を積んでくれたらうれしいです。
- ・職場体験、楽しかったー！と話していました。普段生活している中ではなかなか接することのない職種なので、経験できてよかったです。1つ希望を言うのであれば、楽しさとともに、仕事のしんどさも少し味わえると将来の職業選択の際により深く考えられるのかなと感じました。
- ・学級閉鎖により体験に参加できませんでした。本人も親も非常に残念に思っております。1日だけでもいいので、参加させてやりたかったです。

■受入先アンケートより**【印象に残ったこと等】**

- ・こちらから指示したことはもちろんのこと、自分からできることを見つけて自分で考えて動いてくれたのでよかったです。
- ・「あと1週間延長したい」と言ってくれたことがとても嬉しかったです。
- ・3日目、4日目になるとこちらから指示を出さなくても、自分たちでできることを探して、取り組んでくれました。その日にできなかったことがあると、生徒同士で振り返り、次の日の作業に活かしてくれました。
- ・受け身だった姿勢が、日が経つにつれて笑顔が見え、積極性がみられるようになりました。
- ・自発的な部分がもう少し出てほしかったです。
- ・事前訪問時に自己紹介の手紙を持ってきてくれたことが好印象でした。
- ・最初は緊張がみられたが、日が経つにつれ慣れてきたと感じました。発言を求められた時はしっかり自分の意見を話していました。全てにおいて積極性や自主性が感じられました。
- ・最初は緊張気味でしたが日に日に笑顔が出てきて、職場体験ではなく、当スクールの一員であるかのように会員様に接客してくれました。
- ・この体験を通じて「困っている人がいれば助けたい」という想いが徐々に芽生え、みんなで助け合いながら活動をしていたことが非常に印象的でした。
- ・全員（4人参加）積極的に参画していました。失敗や間違いを恐れず、素晴らしかったと思います。
- ・最も印象に残った点は、中学生の「積極性」です。自ら、課題に気付き、「〇〇やってもいいですか?」と確認し、動いてくれました。日が経つにつれ、成長していき、中学生の姿とは思えないくらい働きぶりでした。本当に頼もしかったです。
- ・イキイキとした表情で5日間働いていただけました。特にPOPの作成においては、完成度が非常に高く、度肝を抜かれました。5日間ではありますが、生徒たちの成長を私たちも強く感じています。

【工夫されたこと】

- ・一職員として対応し、仕事の大変さや楽しさを伝えられるようにしました。
- ・中学生に縛られず、アルバイトの方々と同じトレーニング内容で実施させていただきました。
- ・こちら側から一方的に指示するのではなく、自主的に考え動いてもらうことを意識しました。
- ・事前に、スケジュールと受け入れ担当者を設定することで、時間を持て余すことなく、職場体験を実施することができました。
- ・当店の職場体験に来た生徒さんは一人のスタッフとして扱い、普段できないことをなるべくしてもらおうようにしました。
- ・事前にもらった自己紹介カードがあることで、スタッフとのコミュニケーションが図りやすかったです。また、利用者に中学生を紹介するきっかけにもなり、大いに役立ちました。
- ・子ども扱いせず社会人として求められることを伝えつつも、最初と最後に質問の時間を作りました。
- ・受け入れにあたって、生徒のことを職場内で共通理解するようにはしました。支援センターの仕事内容で、中学2年生の力でできることを職場内で検討し、事前準備しておきました。
- ・安全を最優先に仕事を決めさせていただきました。
- ・暑い時期ですので、特に熱中症には気をつけました。

- ・最終日に報告会を実施しました。
- ・この仕事を少しでも知ってもらえたり、将来就きたいと思えるよう、事前のオリエンテーションで、私たちが大切にしていること、この仕事の楽しさなどを伝えさせてもらいました。
- ・受け入れ準備をして、カリキュラム作成と指導者の任命及び社員へのスケジュール通知、体験学習を受け入れする企業として、受け入れにおいての目的を周知しました。
- ・何のためにこれ（掃除など）をするのかを説明してから行っていただくようにしました。

【ご意見】

- ・子どもたちの教育を学校任せにするのではなく、広く地域社会で育てるという認識を持ってもらうためにこれからも継続してほしいです。
- ・未来ある若者の貴重な体験のために、地域の事業所として今後も協力したいと思います。
- ・3年間、コロナ渦でできなかった職場体験が再開されて良かったです。やはり直接子どもたちと生活や遊びを共にする中で得られた経験は生徒さんにとって必ず将来の糧になるものだと思いますので、今後も続けていっていただきたいです。
- ・大変なことだと思いますが、生徒たちにとっては社会に触れる大切な機会だと思います。できる限り協力していきたいと思います。
- ・今回診療所でも初めて受け入れさせていただき、中学生に医療職の良さを伝える機会となりました。また、中学生にとっても将来を考える良いきっかけになると思います。
- ・中学校側も受け入れる事業所側もスケジュールの調整など大変な面もあると思いますが、働くことの意義や仕事の面白さ、専門性など気づき、今後の進路選択時の一助になる有意義な取り組みだと思います。
- ・職場体験が再開され、中学生の子どもたちが実体験できるようになり嬉しく思っています。この仕事に魅力を感じてくれることを願っています。先生方もよく様子を見に来てくださり、ありがとうございました。
- ・他校さんと日程が重ならないように、事前調整をして頂けると、もっと受け入れ人数を増やせます。
- ・学校によって、日報などの記入や押印など必要なことが違うので、事前に生徒に渡しているものをいただくと助かります。
- ・段取り等、大変ですが、次年度も継続していただきたいです。
- ・一過性の体験学習に終わることなく学年毎に3年間を通じて就業、就職（特に当事業所のような分野、職種はなかなかの人材難です）に向けての学校と企業、事業所間で様々な連携に繋がればと期待しております。
- ・単なる職場体験だけで終わらず、一連の過程（仕事調べ、社会人のマナー、職場との打合わせ、体験、体験したことの振り返りや発表）として学習する取り組みが素晴らしいと思っています。
- ・日を増やしてはどうでしょうか。3日ではやや中途半端な印象です。
- ・4人程度の受け入れは可能ですが、作業時の私語等が目立ったため、可能な限り私語が目立たないようなグループ分けや、事前研修の場で体験中の私語への指導を行ってほしいです。
- ・学校生活以外にもこのような職場体験は必要だと思います。子どもたちのいきいきとした姿勢を従業員が見ることで、私たちも貴重な体験をさせていただきました。
- ・職場体験学習が元に戻り、本当に良かったです。私たちも指導しながら初心に帰ることができるし、生徒さんが来てくれることで色々な気づきがありました。地元の企業としても続けてもらいたい取り組みだと思います。これからもできる限り協力していきたいです。

■教員アンケートより**【職場体験後の生徒の変化】**

- ・社会の厳しさを少し感じたようすであった。また、仕事の楽しさも感じているようすであった。時間を意識して授業の用意をするようになった。
- ・言葉遣いや態度が落ち着いたように思う。
- ・排水溝の掃除など「汚いから嫌」と言っていた人が積極的に掃除をしている姿あった。
- ・細かいことにも、前向きに取り組もうとする生徒が増えた。先のことを見通し、将来に向けて必要な力を養おうとする生徒の意欲を感じた。
- ・将来のことを考えるきっかけとなり、日常生活、学習にさらに真剣に取り組めるようになった。
- ・教室に入りづらかった子が、自分から教室に入る時間を増やしている。事後学習等も教室で行っている。
- ・教室に入れなかった生徒が、教室に入り、授業を受けられるようになった。
- ・おとなしく内向的な生徒が、「職場体験こんなに楽しいとは思わなかった。」とうれしそうに語ってくれ、「自分から人に話しかけることが怖くなくなった」と感想に書いていた。
- ・自分の進路について考え始める生徒や、これまで出せなかった提出物を出せるようになった生徒がいる。
- ・話を聞く姿勢や目線が良くなり、嫌なことでもまずやってみようとする姿勢がみられた。
- ・先を見据えて行動する生徒の様子が見受けられた。
- ・働くことについて、真剣に考えるような発言や行動が見受けられた。
- ・地域の人や保護者に対する感謝の念が強まったように思える。

【職場体験の事前・事後の指導で、計画的に行っている内容等】

- ・事後学習として、体験で学んだことや感じたこと、気付いたことをタブレットを使用してスライドを作成し、学級で発表・交流する機会を設ける。また、学級でよかった生徒については表彰し、学年集会で発表する取り組みを行った。
- ・お礼状を書くにあたり、手紙の書き方の授業と関連させ、相手や状況に応じた文章の書き方について指導を行った。
- ・教科の授業内容で、つながる部分は積極的に話して伝えるようにしている。
- ・国語科との連携でいうと、事前に敬語の学習を行い、事後には授業で手紙の書き方を学習したうえでお礼状の指導まで行った。
- ・産業の学習と生徒が体験に行く事業を関連させ、産業の種類の割合を実感させた。
- ・道徳で職場体験に関する項目を行った。
- ・学年を超えてのポスターセッションを行った。
- ・教科指導の際に、自分たちの今後の生活とどのように結びつくのかを示すよう意識している。
- ・次年度体験を行う1年生や、保護者の方、お世話になった事業所の方を招いて、体験発表会を行った。
- ・事後指導では、今年度は全校発表を実施している
- ・探究的な学習に取り組むことができるように、総合的な学習のテーマと職場体験の関わりを丁寧にガイダンスした。

【職場体験学習で、社会人講師等、地域の教育力を活用したり、小学校やPTAやハローワーク等と連携したりした取組事例】

- ・県内私立高校校長による職場体験事前講話を実施した。
- ・校区内の小学校を体験場所に加えた。
- ・小学校で職場体験学習を実施した。不登校生徒や課題を抱える生徒等が出身小学校で体験を行うことで、きめ細やかに対応することができた。
- ・学校運営協議会に協力していただき、いくつか事業所を紹介していただいた。
- ・コミュニティー・スクール会長に職業講話をお願いし、働く意義についてじっくり話していただいた。
- ・受入事業所を探す時に、野洲市商工会に力を貸していただいた。
- ・SDGs・MLGsを大テーマとした探究学習の一環に職場体験を位置づけたことから、滋賀県びわ湖環境部琵琶湖保全再生課より担当者を招いて、本県のMLGsの取り組みを紹介していただいた。

【職場体験学習を通して地域との連携が深まり、地域行事などで中学生の活躍の場面が増えた事例】

- ・体験活動が再開されたので、地域の保育児とのかかわりや地元民であるお客さんとしての関りができた。
- ・生徒会活動として地域の清掃活動を計画し、実施できた。
- ・体験先の事業所からは、生徒の活動に大変好意的なご意見をいただいた。地域と中学生が関わる機会がこの数年の間、とても少なく、中学生の活躍する姿を伝えることができていなかったが、こういった機会に地域の方に中学生の様子を伝えることができ、地域とつながることで学校が地域と一体となって子どもを見守り育てる環境をつくっていく足がかりとなると考える。
- ・夏休みの福祉施設でのボランティア活動への参加が増えた。

【職場体験の事前・事後の指導で、昨年度より充実させた内容】

- ・昨年度は担当していないので定かではないが、事前になぜ体験するのかという集会をもったり、事後にお礼状や手紙の書き方を国語と連携して行ったりした。
- ・事前学習で、「14歳の職場体験」というDVDを活用し、社会に出ることをイメージさせた。
- ・文部科学省の動画を視聴し、職場体験にかかわるSNSの問題や個人情報の保護について注意喚起を行った。
- ・事後学習におけるパワーポイントを使用した学習成果の発表を行った。
- ・ロイロノートを活用したまとめ学習を実施した。
- ・MetaMojiClassRoomを活用し、写真付きのプロフィールを作成した。
- ・体験事業所の職種ができる限り増えるようにした。また、タブレットを利用してプレゼンテーションの形で学習をまとめるようにした。
- ・指導ではないが、新規受け入れ先の開拓に前年度から動いていた。
- ・マナー講座、お礼状指導など、3年前までの取り組みと同等またはそれ以上に充実できたと考える。また、事業所の希望調査をする時に、事業所側に「どのような資質の生徒が求められるか？」をたずね、その文言通りに生徒に事業所を選ばせるようにしたところ、どの事業所でも「とても意欲的に取り組める生徒であった」と評価していただけた。